

7章 現代 現在に続く日本と世界

章の問い：戦後の日本の社会はどのように変化し、現在へつながってきたのだろうか。

★この時代では、前の章で学習した時代からどのように社会が変化するか、予想を書こう。

1 節の問い：第二次世界大戦後、日本は独立の回復に向けて、どのような取り組みを行ってきたのだろうか。

2 節の問い：国際社会に復帰した日本は、どのような役割を担うようになったのだろうか。

3 節の問い：

現代世界の諸課題の解決に向けて、私たちはどのように取り組んでいけばよいだろうか。

学習事項の確認

年代	時代	日本の動き	朝鮮	中国	世界の動き		
					アジア	西側	東側
1940	昭和	45 連合軍による占領 民主化政策 男女普通選挙 農地改革・財閥解体			45 国際連合の成立		
46 極東国際軍事裁判 ~48				中国の内戦	冷戦		
46 日本国憲法の公布				49 中華人民共和国成立			
47 教育基本法				50 朝鮮戦争			
50 特需景気				53 アジア・アフリカ会議 (Bバンドン)			
51 A サンフランシスコ 平和条約→独立回復 日米安全保障条約		朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)	大韓民国(韓国)	55 アジア・アフリカ会議	49 北大西洋条約機構(NATO)成立		
54 自衛隊の発足				60 アフリカの年	55 ワルシャワ条約機構成立		
55 55年体制の開始 高度経済成長期				65 D ベトナム戦争	62 C キューバ危機		
56 日ソ共同宣言				73 第4次中東戦争			
56 国際連合に加盟				75 サミットの開始			
60 安保闘争			75 石油危機				
64 東京オリンピックの開催			78 日中平和友好条約				
65 日韓基本条約			86 バブル経済 ~90				
67 公害対策基本法			92 国連平和維持活動(PKO)協力法				
68 小笠原諸島の復帰			93 55年体制の終わり				
72 沖縄の復帰			97 京都議定書の採択				
72 日中共同声明			09 政権交代(民主党政権)				
73 石油危機			11 東日本大震災				
78 日中平和友好条約			12 政権交代(自公連立政権)				
80 日米の貿易摩擦							
86 バブル経済 ~90							
90 国連平和維持活動(PKO)協力法							
93 55年体制の終わり	平成						
97 京都議定書の採択							
09 政権交代(民主党政権)							
11 東日本大震災							
12 政権交代(自公連立政権)	令和						

1) 時代の特徴を考えるにあたって、次の作業を行って、あなたの年表を完成させよう。

- ① 政治や国際関係の変化で重要であると考えられる出来事に赤いマーカーを、生活や社会の様子について重要と考えた出来事には黄色いマーカーをつけよう。
- ② 「章の問い」に対する考えをまとめるうえで、大切だと考える出来事を書き足したり、関係のある出来事どうしを矢印で結んだりしよう。

2) 地図中のあ～かの空欄に入るものを、年表内の下線 A ~ F から選ぼう。

あ
い
う
え
お
か

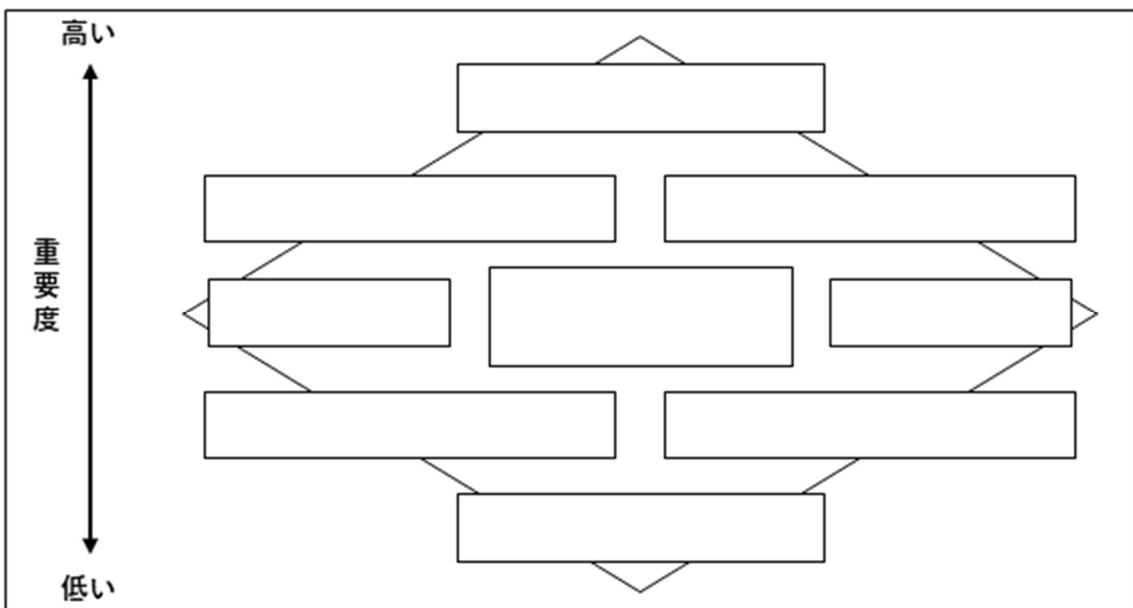
章の問い：戦後の日本の社会はどのように変化し、現在へつながってきたのだろうか。

① タイムトラベルを活用して振り返ろう

メモ欄

② ほかに人と話し合っ「章の問い」を考察しよう

重要だと感じたこと



「章の問い」に対するあなたの考え

時代の特色を考察しよう

現代は、

[の]時代である。

なぜなら、

[だ]からである。

「これからの社会を構想しよう」への準備

メモ欄

「学習する時代の見通し」に戻ってみよう

- 章の問い：学習を通して考えをまとめることが
 - よくできた
 - できた
 - あまりできなかった
- 時代の特色をまとめるうえで有効だった「見方・考え方」
 - 時期や年代
 - 推移
 - 比較
 - 相互の関連
- 「学習する時代の見通し」から考えが深まったこと

- 章の学習を通して感じたこと・さらに深めたいと思ったこと